



2017年10月31日（火）～11月12日（日）

「妹島和世 SANAA × 北斎」開催のご案内

すみだ北斎美術館の建築を設計した建築家・妹島和世。妹島の最新建築である「すみだ北斎美術館」の空間の中で、葛飾北斎と妹島和世という、江戸と現代で共に人々を惹きつけてやまない革新的な二人を感じていただく企画展です。当館の模型やドローイング、現在進行中の妹島和世建築ユニット SANAA のプロジェクトの模型や写真の展示、また『北斎漫画』のレプリカなどを公開します。



©Forward Stroke

■開催概要

展覧会名：妹島和世 SANAA × 北斎

会期：2017年10月31日（火）～11月12日（日）

開館時間：9:30～17:30（入館は17:00まで）

休館日：毎週月曜日 ※11月6日（月）

観覧料：AURORA（常設展示室）も観覧いただけます。

	一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者
個人	600円	450円	450円	200円	200円
団体	480円	360円	360円	160円	160円

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生（高専、専門学校、専修学校生含む）は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます。（入館の際は、身体障害者手帳などの提示をお願いします）

■本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA（常設展示室）もご覧になれます。

主催：墨田区・すみだ北斎美術館

会場構成：妹島和世建築設計事務所

協力：株式会社空想舎、株式会社江永化成、岡建工事株式会社



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



お問い合わせ：すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2 電話 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

公式サイト : <http://hokusai-museum.jp/sejima/>

公式 Twitter : <http://twitter.com/HokusaiMuseum/>

公式 Facebook : <http://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

■企画展趣旨／見どころ

妹島和世と北斎。それぞれの時代をリードしてきた世界を体感してください

すみだ北斎美術館は、葛飾北斎の貴重な作品を展示しながらも、近未来的な建築も魅力となる美術館です。この地に生まれ、生涯のほとんどを墨田区で過ごした世界的にも有名な北斎は、まちの伝統を受け継ぐソフトなアイデンティティーであり、また地域と調和しつつも目を引く美術館の建物自体は、まちのハードな新しいアイデンティティーでもあります。そんな要素を併せ持つすみだ北斎美術館は、地域の人をつなぐコミュニティを生み、そのコミュニティが作り出す文化が、未来を変えてゆきます。

このアルミパネルで覆われた特徴的かつ斬新な外観を持つ建築は、日本を代表する世界的な建築家、妹島和世による設計です。

日本の伝統である浮世絵など圧倒的な画業で人々を魅了した北斎作品と、近未来的ともいえるアルミの外観を持つ妹島の設計は、一見相反する事と感じがちですが、どちらも今まさに世界から注目を浴びているという共通点があります。常に最新の画法を追求しながらも、どこかコミカルに温かみのある人間を描き続けた葛飾北斎と、クールでスタイリッシュでありながら、人や街をつなぐ設計を生み出す妹島和世。

本展では、妹島の最新建築である「すみだ北斎美術館」という空間も1つの作品と考え、葛飾北斎と妹島和世という、江戸と現代で共に人々を惹きつけてやまない革新的な二人を、全館を通して感じていただくことができます。

江戸と平成、それぞれの時代で世界をリードする二人の空間をぜひお楽しみください。

妹島和世（せじま・かずよ）



©Aiko Suzuki

1956年茨城県生まれ。1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とともにSANAAを設立。2010年第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。日本建築学会賞*、ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞*、プリツカー賞*、芸術文化勲章オフィシエ、紫綬褒章などを受賞。現在、横浜国立大学大学院Y-GSA教授、ミラノ工科大学教授、ウィーン国立応用芸術大学教授、日本女子大学客員教授。

代表作として、梅林の家、犬島「家プロジェクト」(岡山市)、金沢21世紀美術館*(金沢市)、ニューミュージアム*(ニューヨーク)、サーベンタイン・ギャラリー・パヴィリオン 2009*、Rolex ラーニングセンター*(スイス・ローザンヌ)、ルーヴル = ランス*(フランス・ランス)、グレイス・ファームズ*(アメリカ・コネチカット)、すみだ北斎美術館など。来年3月、荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)がオープンを迎える。(*はSANAAとして)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

**SANAA (SEJIMA AND NISHIZAWA AND ASSOCIATES)**

妹島和世と建築家・西沢立衛(にしざわりゅうえ)が組む建築ユニット。建築のみならず、インテリアデザイン、都市計画、展覧会や家具のデザイン等にも携わる。

■展示構成**1階 MARUGEN100 (講座室)**

妹島がデザインしたフラワーチェアのレプリカ(発砲スチロール製)を25脚展示。
講座室がフラワーガーデンのように変化します。今回はその中で当館設計のプロセスのスライドショーをお楽しみいただきます。

3階 ホワイエ

梅林の家 や「金沢 21 世紀美術館」などの、妹島と SANNA の過去のプロジェクトと共に、「ニュー・ナショナル・ギャラリー・リゲット(New National Gallery Liget)」(ハンガリー・ブタペスト)や「台中市文化センター(Taichung Green Museumbrary)」(台湾・台中市)といった、最新のプロジェクトの模型も多数展示します。

4階 企画展示室・ホワイエ

すみだ北斎美術館の模型やドローイング、イメージ、工事写真により、コンペから始まったプロセスを展示します。展示室自体も新しい空間を体験できるインスタレーションとなっており、今回は特別に同じ空間に北斎エリアを設置。実際に手に取って見ることのできる『北斎漫画』のレプリカのなどをご用意します。妹島の世界観の中で、葛飾北斎も感じられる空間をお楽しみください。

◆期間中は、手に取れる『北斎漫画』のレプリカ 全 15 巻を取り揃えます!



葛飾北斎『北斎漫画』三編



葛飾北斎『北斎漫画』十編 ※両作品とも、すみだ北斎美術館所蔵



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp





■関連イベント

当館の魅力は、企画展とともに展開するバラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など《つながる》に根差した連動企画もあります。

1. 妹島和世講演会 <事前申込み制・先着順> ※定員に達した為、申込みは締め切らせていただきました

テーマ：「地域と建築（仮）」

講師：妹島和世

場所：MARUGEN100（当館講座室）

日時：2017年11月3日（金・祝） 11：00～12：00（開場10：30）

定員：60名

料金：無料



©Aiko Suzuki

2. 第4回 すみだ北斎美術館たてものツアー ※定員に達した為、申込みは締め切らせていただきました

妹島和世により設計された当館は、開館以来、葛飾北斎の名作を鑑賞するだけでなく、建物を見学したいお客様も数多くお迎えしています。

本展に合わせ、妹島和世建築設計事務所の福原光太による第4回「すみだ北斎美術館たてものツアー」を実施いたします。

毎回好評をいただき満員となるツアーで、美術館の建設着工から竣工までの様子や建築の特徴、最新のデザインなど「すみだ北斎美術館」の建築の魅力を設計者側からご講演いただき、建物内を歩いて巡ります。

講師：福原光太（妹島和世建築設計事務所）

場所：MARUGEN100（当館講座室）

日時：2017年11月4日（土） 14：00～15：30（開場13：30）

定員：15名

料金：無料

◇表記に関するご注意

■北斎作品にはクレジット表記をお願いします

「所蔵：すみだ北斎美術館」または「すみだ北斎美術館蔵」

■<葛飾北斎>の表記にご注意ください

誤) 葛 ⇒ 中が「ヒ」 正) 葛 ⇒ ○中が「人」



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■今後の企画展予定

◇2017年11月21日（火）～2018年1月21日（日）

「開館一周年記念 めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」

江戸時代の趣味人たちには、新春に「摺物」と呼ばれる版画を贈り合うならわしがあったため、北斎とその弟子たちも、神様をはじめとする多くのおめでたい図像を描いています。北斎と門人たちが手掛けためでたい作品は、相手の幸運を願って贈られ、人々に温かな気持ちを届けています。本展では、2017年11月22日の当館開館一周年記念の感謝を込めて、招福、開運が訪れそうな作品を、4つのおめでたいテーマに沿って数多く展示します。まるっとまるごと福づくし！のめでたい北斎展をお楽しみにください。



葛飾北斎「万歳図」（後期展示）すみだ北斎美術館所蔵

◇2018年2月6日（火）～4月8日（日）

企画展「Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～（仮題）」

北斎は画風の変遷の中で、特徴的な美人画のスタイルを確立し、時流をとらえて多くの人々を魅了しました。本展では、北斎とその一門が描いた美人画や、江戸の女性風俗の資料など約100点を集めてご紹介します。葛飾北斎が描く華やかかつ繊細な世界を味わってください。



葛飾北斎「花魁と禿図」（部分） ※公開予定作品 すみだ北斎美術館所蔵

※今後も詳細が決まり次第、ご案内を行っていきます



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館